

第47回 墨東五区バスケットボール大会

7月17日（日）墨田総合体育館

女子 足立区対葛飾区 戦評

第1ピリオド 足立区は #4、 #6、 #8、 #12、 #14 でスタート。ファーストシュートは足立区 #6 のカットインで先制し、 #4 のゴール下と幸先良く連続で得点を決める。対する葛飾区はシュートチャンスはめぐってくるものの、長い時間得点が決まらないまま7分が経ち、ようやく #4 のジャンプシュートで初得点。

第1ピリオドを終了して、22-3で足立区リード。

第2ピリオドも足立区が攻め込む時間が多く、 #4 を中心とした高さを生かしたオフェンスで得点を重ねていく。葛飾区は、パスミスやバイオレーションが目立ち、なかなかシュートまで持ち込めずにいたが、シュートファウルによるフリースローで着実に得点を決めていき、37-9で前半終了。

後半、第3ピリオドに入っても流れは足立区。葛飾区のシュートが決まらないところを、確実にリバウンドを取って速攻につなげていき、得点差を広げていく。 #12、 #14 2人のスティールからの速攻攻撃もはまり、たまらず葛飾区はタイムアウトで落ち着かせる対応。タイムアウト後の出だしは、ピックアンドロールなどを仕掛けて得点を決めるが、リズムをつかむまではいかず、51-11で第3ピリオドを終える。

最終、第4ピリオド。なんとか一矢報いようと葛飾区 #7 #12 で応戦。点差まで縮めるもここぞの場面でミスが続き、そこを足立区のガード陣に走られて簡単点数を重ねていく。最後は #12 が3ポイントを決めて試合終了。最終結果は79-23と大差をつけて足立区が勝利した。選手・スタッフの皆さんお疲れさまでした。